



第2708回例会 2022年4月7日（木）

SAA/山本会員

会報担当/ 川島事務局

●点 鐘 平野会長

●ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト

●お客様

インターアクト委員長 久佐野博史 様

● 平野会長ご挨拶



皆様こんにちは。
 松戸ロータリークラブよりお越しの久佐野様ようこそ市原ロータリークラブにお越しいただきありがとうございます。
 久佐野様は次年度第2790地区インターアクト委員長を務められます。

インターアクト提唱クラブとして、また市原中央高校インターアクトクラブをよろしくお願いたします。4月二十四節季で申しますと清明。清浄明潔、天地・万物がすがすがしく明るく美しい季節となりました。4月は母子の健康月間です。毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりだそうです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、ロータリーは考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、ロータリーは支援活動を行っています。

ウクライナでは戦争の惨禍母子の生命が守られない事態が起きています。

映画界でもウクライナを支援する活動があります。ひまわりという映画の上映を通して、ウクライナに寄付をするというものです。

ひまわりはウクライナの国花だそうです。1970年の映画でマルチェロ・マストロヤンニとソフィア・ローレンが出演し映画音楽をヘンリー・マンシーニが担当しています。

内容は第2次世界大戦後帰らない夫をウクライナ（ソ連）に探しに行くというものです。

映画の持つメッセージ性、始まりと終わりのひまわり畑でのソフィア・ローレンのシーンがウクライナの現状と重なり、考えさせられる映画です。ロータリーを含めていろいろなフィールドの方がそれぞれの立場で心を寄せて支援をおこなっています。機会があればご覧ください。

● 上野幹事報告



ロータリー財団に新入会員全員分寄付
 地区研修協議会にて本多会員、檜垣会員が奉仕活動優秀個人として表彰されます。
 第4Gの親睦ゴルフが6月13日に延期。

地区ゴルフ大会には、現在平野会長・上野幹事 福原会員・山本正樹会員参加予定。

5月18日19日で親睦旅行を行います。

参加希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

4月ロータリーレート122円です。

●本日のメインプログラム

新入会員卓話

●本日司会進行

S A A 山本順也会員



奉仕プロジェクト委員会より

檜垣委員長

インターアクトクラブへの活動支援費が
年3万5千円では不足する事から5万円
に増額明日、市原中央高校へ持参します。



インターアクトの活動について
檜垣委員長をはじめご協力
頂ければとご挨拶に伺いました。

●ニコニコ報告

永野会員・・・VONDS市原 開幕戦勝利しました。

皆様の応援のおかげです。ありがとうございました。

又新しいスポンサーも募集しておりますので、興味のある方は
お声がけ下さい。宜しくお願い致します。

福原会員・・・山本正樹会員・松本弘行会員、今日は卓話ありがとうございました。

地区インターアクト委員長 久佐野博史様今日は松戸より市原の例会にご参加
ありがとうございます。

平野会長・上野幹事・・・久佐野様市原ロータリークラブにお越し頂きありがとうございます。

皆様と親睦旅行行きたいですね！ 参加お待ちしております。

●出席報告

前々回確定 49.38% 出席者38名 欠席者35名
本日出席率 55.88%

●本日例会場

懐石料理 淡粋

●委員会報告

会員増強・退会防止委員会より
山本正樹会員より



親睦旅行

5月18日、19日

箱根湯本温泉

◎会員へのご案内
&申込受付は事務局より
配信します。

◎申し込み期限4/25迄

◎最小実施人数を20名

とします。20名を下回った場合も中止とします。

◎コロナ関連の蔓延防止期間や緊急事態宣言が出
た場合も中止とします。

皆様の参加お待ちしております。

●本日のお客様

松戸ロータリークラブ

インターアクト委員長 久佐野博史様



● 新入会員卓話

株式会社MKプラント 山本正樹 様

お疲れ様です。本日は私の簡単な自己紹介をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

山本正樹 42歳になります。千葉市の若葉区の若松という所で生まれ育ちました。



18歳 千葉北高校 卒業

・22歳 千葉工業大学 土木工学科 卒業

とりあえず家から近くて車通勤OKの商社の会社に適当に就職。

ですが元々やる気が無かったので些細なことで即退社を決意。

2ヵ月で退社しました。

・25歳 行政書士の勉強を開始、2年目に合格。

27歳 行政書士に合格し即開業しました

・頑張った甲斐もあり 3年目には行政書士だけで飯が食えるようになりましたが、副業にも興味が。 仕事内容は住み込み式の建設業専門の派遣会社になります。通称人工出しです。

右も左も分からない建設業界未経験の私には飯場はとても刺激的でした。

・その会社を立ち上げて1年半後向上心とやる気のある若い子と仕事がしたいなと思ひまして

そうして始めたのがMKプラント

・36歳 株式会社MKプラント設立（市原市、作業員40名）

仕事内容は、市原近辺の工場の中で配管工事や機械メンテナンス工事。

半分が地元から通い、半分は寮に住んでいます。会社の近くに寮として普通のアパートを何部屋か借りていてそこから自転車で通勤してもらっています。

・会社での課題

離職率が高すぎる。2021年は77人入社して70人の人が退職しました。離職率90%です。

そして仕事を覚えては辞め、覚えては辞めの繰り返しで、やはり会社全体の技術力が向上していかない。商品が人のため思い通りにならないことやトラブルも多くとにかく大変。ストレスがもっと少ない仕事をやりたいと思うことはよくありますが、現状は今いる会社をもっと良い会社にしていくことに注力していこうと思っています。

良い仕事をして良い単価をもらい良いお給料を払っていただける会社にしていきたいです。

・行政書士事務所の現状

現在は行政書士を目指して勉強中の正社員が1名、うちの事務所で働きながら資格を取得し一応独立はしたものの100%うちの仕事しかしていない専属外注が1名の2名に頑張ってもらっています。

そのため、最近ほぼ行政書士の仕事は私自身しておりません。

二人の給料を払うと私の手元にはそこまでお金は残りません。

未だに行政書士を続けていけるのはやはり行政書士の仕事自体が好きで、お客様から感謝されることが多いこと、色々な経営者と出会える事、色々な情報が聞けること、そして最悪会社がつぶれても行政書士だけでなんとか生きていけるという私にとって最後の保険だからです。

最後にこんな自分ですが、どうぞよろしくお願い致します。

● 新入会員卓話

岡本薬局 松本 弘行 様



みなさんは薬局と聞くとどのような薬局をイメージされますか？

病院にかかったことのない方や年配の世代の方たちは、地元の商店街のなかにある薬局をイメージされる方もいらっしゃるかと思います。しかし、おそらく多くの方は、病院やクリニックの隣にある薬局をイメージされるのではないのでしょうか。

我々の業界では、昭和の時代の頃の薬局を第一世代の薬局と言っています。私が薬剤師になったのは1984年、昭和59年です。当時、薬剤師の資格をもって働くならば病院で働くのが一般的でした。縁あって姉崎に帝京大学が病院を開設

1986年、昭和61年に市原に赴任してきました。現在は、帝京大学ちば総合医療センターと言われていますが、当時は帝京大学医学部附属市原病院という名称でした。

一方、時代も平成になってくると、第一世代のようなスタイルの薬局も徐々に減っていき、今では多く見られる「病院やクリニックの隣にある薬局」、すなわち「そこで出された処方箋をもっていけば薬を出してくれるところ」という薬局が増えてきました。一般に「調剤薬局」と言われる薬局です。

我々の業界では、この薬局のスタイルを第二世代と呼んでいます。

実は、“調剤”は奥深いもので、調剤をするとき、薬剤師はその患者さんの普段の生活や体質など、その患者さんの様々な背景を踏まえて頭の中でいろいろな思考をします。

薬がその患者さんの体の中に入ったとき、どのように吸収され、体のどこに分布し、どのように効いて、どのように代謝、排泄されるかを考えます。ほかの医療機関から処方されている薬があれば、その飲み合わせや、薬の数や量が増えたときに起こる副作用等の安全性についても考えるのですが、これらは目に見えるものではありません。患者さんが100人いれば、100通りの調剤が存在します。

2000年、平成12年に五井の斎賀医院が院外に処方箋を出すことになり、岡本薬局が斎賀医院のとなりに岡本薬局みなみ店を開局することになりました。当時、先代の娘が帝京大学市原病院の薬剤部に同僚として勤務していた関係から、岡本薬局みなみ店の開局に合わせて、転職の誘いをいただきました。

この4月で22年目になります。岡本薬局で、当時から心がけていることは、患者さんの身近な薬の相談役、今で言う「かかりつけ薬剤師」になることです。今回、ロータリークラブのみなさんには、薬剤師は在宅訪問もすると知っていただけたと思いますので、将来、自宅で療養されるようになって、薬の管理に困った際は、かかりつけの薬局にご相談頂ければと思います。先代の岡本良一が2年前に他界する少し前に、私が代表を引き継ぎ、日々勉強の毎日です。岡本薬局は市原市にある小さな薬局ですが、何よりも、患者さんから信頼される薬局であり続けたいという思いを胸に「薬のことで困ったら岡本薬局に相談しよう」と言っていたような薬局でありたいと思っています。